

製品名: ASPA ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87722**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:500,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:36 kDa; Observed MW:36 kDa

抗原情報

遺伝子名	ASPA
別名	ASP; ACY2
遺伝子 ID	443, 11484, 79251
SwissProt ID	P45381, Q8R3P0, Q9R1T5
免疫原	ヒト ASPA の合成ペプチド

背景

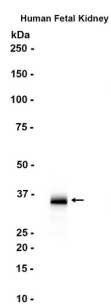
この遺伝子は、N-アセチル-L-アスパラギン酸（NAA）をアスパラギン酸と酢酸に変換する酵素をコードしています。NAAは脳内に

豊富に存在し、アスパルトアシラーゼによる加水分解が白質の維持に役立っていると考えられています。このタンパク質は他の組織においてNAAのスキャベンジャーとして機能します。この遺伝子の変異はカナバン病を引き起こします。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写産物バリエーションがみつかっています。[RefSeq 提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ



ASPA ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、ヒト胎児腎臓組織抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。